

いえん

- ◆一般質問…………… P2~5
- ◆議決結果…………… P6
- ◆議決結果内容…………… P7
- ◆意見書…………… P8
- ◆研修報告…………… P9
- ◆議長南米視察報告…………… P10
- ◆議会の活動…………… P12
- ◆“みんなの声”聞いてみました P13
- ◆題字提供者紹介・編集後記・P14



マリンスポーツで交流を深める伊江と高島の子供達



伊江村・滋賀県高島市相互交流事業(夏)

平成6年度から行なわれている滋賀県高島市(旧高島町)の交流事業は、今回で24回目。小学校5,6年生を対象に、夏は伊江島でマリンスポーツ等の体験、冬には高島市でスキー体験をする。また、それぞれにホームステイをし、交流を深める目的で行なわれている。今回は、高島市から10名(団員7名・引率3名)が来村した。

毎週6時から7時半まで
投稿いただけるよー



議会広報

いえん

第162号
平成30年9月1日

発行/伊江村議会
〒905-0592 滋賀県伊江村字東江町38
TEL:0980-49-2924
編集/印刷/発行/IT7
TEL:098-989-7421

題字提供はこの方



わーどー
はちちゃんどー

▲題字を書いていただいた東江光子さん
(阿良区(ブカマ))くふさと苑にて

題字執筆者紹介

東江 光子さん
(昭和9年8月23日生まれ84歳)

お若い頃は葉タバコ農家として畑仕事に精を出されていました。ふさと苑では手指のリハビリをはじめ、軽体操など熱心に取り組まれています。活動の中で特に歌うことがお好きな笑顔が素敵なオバーです。

傍聴席へどうぞ

傍聴を希望される方は、お気軽に
議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0980-49-2924(直通)



9月定例会予定

9月14日(金)
午前10時～

編集後記



議会広報誌は、昭和51年9月より県内でもいち早く広報「いえん」として創刊され、平成7年5月に議会広報「いえん」に改名し40年間、議会の情報発信の役割を果たしてきました。これもひとえに歴代議員諸氏、事務局に携われた職員のご尽力、村民の皆様のご理解の賜物だと感謝申し上げます。この4年間「よみやすく、わかりやすく、伝わる、住民参加型」の広報誌を目指し取り組んでまいりました。

中でも題字の「いえん」を書いていただきました皆様、麗峰会、ふさと苑の職員の皆様、「みんなの声聞いてみました」「ワッタウムイ」「私たちの未来」の誌面づくりにご協力頂きました皆様に、厚く御礼申し上げます、ありがとうございました。

伊江村議会18期広報委員会、最後の発刊となりましたが、今後とも「伝わり易く手に取り読んで頂く」広報誌づくりに向けて議員、事務局職員努めて参りますので、ご意見、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

議会広報特別委員会委員長 内間 広樹

※今回は「私たちの未来」「ワッタウムイ」はお休みしました。
※村民皆様のご意見・ご感想があれば気軽に議会事務局までご連絡下さい。

6月定例会一般質問

村政のここを問う！



亀里 敏郎 議員

リリースフィールド公園、後背近隣の枯れたモクマオウの伐採と新たな植栽を
村長／枯死木の伐採をはじめ、公園と調和した保全整備を行う

問

平成24年8月と9月に相次いで強い大型台風が4回も襲来し、その影響で島の北海岸一帯のモクマオウは枯れ、特にリリースフィールド公園背後の枯れたモクマオウは現在まで、ほとんど手つかずになっていく。みずみずしく咲き誇るテッポウユリや世界のゆりとの調和は、あまりにも乖離している状況で、島を訪れる皆様から違和感があると聞く。村民にとっても同様な思いではないだろうか。島独

答

このまま村内の枯死木の伐倒については、平成25年度から27年度に県営の保安林環境整備事業により、保安林を中心に緊急性の高い枯死木を含め危険木の伐倒を実施。その後、村単独事業や村建設業協会によるボランティア作業等で枯死木撤去も併せて実施をしているが、植林帯内の枯死木は重機で開墾

しなければならぬ理由などから、道路沿いを中心に伐倒を行ってきた。また、ゴルフ場北側からリリースフィールド公園東展望台東側における海岸線は、保安林指定を行い県営治山事業で平成19年度から20年度に植栽整備（改良・保育等）が完了したが、東展望台から西側において、事業導入が図られておらず、そのため村では、補助事業等を導入し枯死木の撤去及び植栽整備に向けて、県農林水産部と北部市町村との行政懇談会及び北部農林水産振興センターとの行政懇談会で要望、要請をしている。

問

本村民家体験泊は、平成15年の立ち上げから今日まで順調に推移しており、併せて本村を訪れる旅行者数は、年間約13万人で本村の基幹産業となつてい

城山・湧出展望台駐車場の拡張を

村長／今後の観光動向を見据えながら取り組み

問

面積に限りのある城山中腹の拡張は、補助事業により一体的に景観及び施設の整備を行うっており、物理的に困難であると考えている。湧出展望台の駐車場の拡張についても、周辺が米軍提供区域であり、整備には関係者や関係機関との協議に時間を要する事案となるため、現段階においては検討を行う考えはない。

答

城山や湧出の観光客が懸念される。そこで、城山中腹、湧出展望台の駐車場拡張は出来ないか。

駐車場の混雑を緩和する対策等について、民泊事業者において調整を図り、相互で協力をしながら安全かつ円滑な観光案内をさせていただきたい。村としても、民泊事業者と共に対策に向けた協議を行うとともに、今後の観光動向を見据えながら取り組みたい。

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

かんしょ (紅いも)の安定生産と品質向上に向けて

村長／拠点産地の認定に取り組み、根絶防除事業についても引き続き要請を。



島袋 勉 議員

問

伊江島のかんしょ(紅いも)生産量は、平成28年度から増量し、栽培する農家も増えていく。しかし、生産農家からは安定生産するための機械化や害虫(アリモドキゾウムシ)の根絶防除事業に向けた早期取り組みの要望がある。

答

近年においては、かんしょの生産量が増え、以前にもましてカブツを植えた畑や購買者の看板が見受けられる。村内で生産された紅いもは、主に本島の菓子製造会社で使用されており、青果物やペーパースト状に加工され出荷される

など、主要な原料産地となっている。①現在、県内では読谷村や今帰仁村古宇利島など6市町村が、かんしょの拠点産地認定を受けている。拠点産地認定に向けた取り組みとして、産地の合意形成を図ることが一番重要で、村内の生産農家を集めた産地協議会の開催や地域の特色を生かした独自生産及び販売戦略を立て、差別化を図ることが重要と考えている。

まずは、生産農家県及び農協等の関係機関と連携を図り協議会を立ち上げ、意見の集約を図り、また機械の導入についても協議・検討をしたい。



②県において、不妊虫放飼と寄主植物除去により久米島町やうるま市津堅島において、イモゾウムシやアリモドキゾウムシの根絶事業が実施され、平成25年に久米島町は19年の歳月と多額の予算をかけてアリモドキゾウムシの根絶が達成された。

村では、アリモドキゾウムシ・イモゾウムシの根絶防除に向けて、平成28年に開催された県農林水産部と北部市町村との行政懇談会ならびに北部農林水産振興センターとの行政懇談会をはじめ、昨年4月に開催された沖縄振興拡大会議や、11月に沖縄県議会総務企画委員会が来村された際などに、陳情や要請をしている。

村としては、拠点産地の認定に向けた取り組みと並行して、アリモドキ



▲紅いも



▲アリモドキゾウムシ

6月定例会一般質問

村政のここを問う！



渡久地 政雄 議員

パークゴルフ場の施設整備を
村長／敷地確保と整備後の経営形態など
総合的な検討を行う

問 現在、村民が日々から健康維持・増進に活用並びに利用しているスポーツ関係施設は、主にB&G海洋センター、伊江村多目的屋内運動場、各区老人クラブのゲートボール場、公園等でのウォーキングや伊江島コントロールクラブのゴルフ場がある。その中においても、老人クラブ連合会が主催するゲートボールは高齢者の方々の健康維持・増進や

答 施設整備はできないか。パークゴルフは全国に1,283コース、国外に64コース愛好者は124万人いるとされている。コース設定は一般的に18ホールで6打とされ、1ホールの距離は100mまで(9ホールで500m以内)、料金は200円から高くても1,500円、県外には無料のコースもあり、ゴルフと比べて安価で手軽にプレーできることから急速に普及してきた。

場の整備について」の一般質問があり、調査研究を行ってきた。日本パークゴルフ協会が定める設置基準では、パークゴルフ場としての適当な場所として、「既存の公園」が有効と定めていることから「子どもの森広場」を活用した中で、伊江島コントロールクラブと連携を図りつつ、パークゴルフ場の整備が図れないか調査したこともあったが、ハイビスカス園の拡充計画や子どもの森広場での村植樹祭及び緑の育樹祭等、イベント開催への対応で敷地確保に行き詰まり、現在に至った。

費も見込まれることから、用地確保に加え、施設整備後の経営形態など長期的で総合的な検討を行う必要がある。村としては、村民の健康維持・増進とコミュニケーションの拡大に向けた生涯スポーツとしての観点、若い老人会員を始めとする村民ニーズなども推し量りながら、継続して調査研究を図ってみたい。



▲久米島シーサイドパークゴルフ場

コミュニケーションに大いに役立ち、村の医療費の抑制にもつながっていると思われる。しかし近年、少子高齢化が進む中、若い老人会員の皆様方は会費を納めるが、即ゲートボールは馴染めないとの声が聞こえ、全国的にもこのような傾向にある。そこで、昭和58年北海道で誕生した親子三世代で楽しめるスポーツ、公認のパークゴルフ場の

県内では、国頭村くいなパークゴルフ場、宜野座村かなパークゴルフ場など10数か所で運営されており、伊江村議会において4月26日に「久米島シーサイドパークゴルフ場」を視察し、私も同行した。本村においても、平成24年12月に「パークゴルフ場の整備について」の要望もあるが、記念事業等での取り組み、またはPTA作業等も含め今後検討したい。

パークゴルフは、本格的なゴルフに比べてコース面積がコンパクトとはいえ、公認コースの施設整備には、1万5,000mほどの敷地確保が望ましいとされ、多額の事業

幼稚園の2年保育を再度質問

教育長／検討委員会で課題解決を図り来年度実施に向け取り組んでいる。



名嘉 實 議員

問 ①幼稚園の園庭にブランコなどの遊具の設置はできないか。

預かり保育をした場合、保育料はいくらになるか。

②現在保育所では4歳児は、土曜日も夏休みも保育されます。幼稚園での預かり保育は土曜日も出来るのでしょうか。

④4歳児の夏休み中の給食は村が準備することの方針のようだが、どのような方法で準備するの

か。

④幼稚園児の制服はなくなった方がいいのかの意見もあるが、村としての

意見は。

④保護者負担について次の4点はどうか。

④4歳児を幼稚園で

預かり保育をした場合、保育料はいくらになるか。

答 ①学校から遊具設置についての要望もあるが、記念事業等での取り組み、またはPTA作業等も含め今後検討したい。②各園、正職員2人、臨時職員1または2人、預かり2人の体制を考えているが、今後引き続き検討して実施に支障がないよう取り組む。預かり保育の実施体制についても現在検討中。③同じ業務を長年臨時職員としてキャリアを積んでいることを鑑み、総合的な観点から、採用や待遇について考えたい。④保育所の保育料と均衡を図りつつ、保護者の負担増にならないよう預かり保育料の基準を定めていく。

については、村内事業者等にて対応を考えている。食費の保護者負担についても、軽減されるよう総合的に判断したい。因これまで同様、制服着用を想定しているが、

検討委員会でのようにすべきか検討していききたい。



障がい者のグループホーム建設を
村長／アンケート調査から必要性を実感。

障がい者のグループホーム建設を

問 村長の施政方針でグループホームの設置を検討するとあるが、その進捗状況は。

が合議されたことを受け、私の施政方針で挙げた。

答 平成29年度に伊江村障がい者(児)計画の策定に当たり、関係各所で構成する策定委員会及び伊江村障がい者自立支援協議会において、保護者の高齢化など

親亡き後の生活基盤の確保について議論が展開され、共同生活援助「グループホーム」設置への検討

が合議されたことを受け、私の施政方針で挙げた。

沖繩本島における本村出身者の利用状況では南部地区1人、中部地区2人、北部地区10人、計13人の方が共同生活援助サービスを利用されている。それらの情報を基に、7月

から8月にかけて、自立支援協議会委員を主とした視察・研修を実施し、基礎的ノウハウを学び検討

会議を重ねていく。

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

※一般質問の詳しい内容については、HPの議事録をご覧ください。

議決された主な結果内容

議案番号	件名(内容)
議案第41号	肉用牛優良繁殖雌牛増頭改良推進事業分担金徴収条例 肉用牛種価分析の一部を受益者から分担金として徴収するための条例制定 子牛出生後のゲノミック育種価評価が「毛根」を検体に、これまで数年かかった検査が迅速になり、保留すべき牛かどうかの早期評価が可能となる。 検査費用1頭16,000円(負担割合 県7,500円、受益者8,000円、村500円)
議案第44号 議案第45号	特定地域経営支援対策事業 さとうぎの安定生産、生産農家の労働力軽減を目的に精脱葉施設処理装置の整備、ハーベスターの導入 精脱葉処理施設整備事業／9千720万円 ハーベスター購入事業(2台)5千567万6千160円 (補助率 国66%、村17%、JA17%)
議案第46号 議案第47号 議案第48号 議案第49号	伊江島ハイビスカス園整備工事 ハイビスカス園の施設整備を行い、村観光の拠点施設として充実した整備を行う工事費 ハイビスカス園垣整備、アーチ整備、駐車場整備、園路舗装、環境整備一式等 事業費／建築2億6千136万円 土木1億7千928万円 電気1億152万円 機械8千100万円 総事業費／6億2千316万円
議案第50号	村営第2城山団地建設工事 村内の住宅不足事情緩和を目的に、ニーズに即した村営団地整備工事費 鉄筋コンクリート3階建 12戸 駐車場17台 事業費／建築2億736万円(※電気設備2千192万4千円、機械設備3千564万円) 総事業費／2億6千492万4千円
議案第51号	西小第一教員宿舍整備工事 老朽化した西小第一教員宿舍の移設整備工事 鉄筋コンクリート2階建 10戸 校長住宅を含む 事業費／建築、土木 1億7千172万円 (※電気設備1千954万8千円、機械設備3千110万4千円) 総事業費 2億2千237万2千円
議案第52号	村立幼稚園増改築整備工事 平成31年度より2年保育(4、5歳児)へ向けての増改築整備工事費 増改築面積／伊江幼稚園123.64㎡ 西幼稚園174.33㎡ 事業費／建築8千943万3千円(※電気設備799万2千円、機械設備1千890万円) 総事業費／1億1千632万5千円

※は議案外：伊江村議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例
(議会の議決に付すべき契約)
第2条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第96条第1号の規定により
議会の議決に付さなければならぬ契約は、予定価格5,000万円以上の工事又は
製造の請負とする。

平成30年 第6回 伊江村議会定例会 (開会日：6月13日～6月14日)

議案番号	件名	提案者	議 決 果
報告第6号	平成30年度伊江村人材育成会の業務報告について	村 長	原案報告
報告第7号	伊江島はにくすに空調設備改修工事(機械設備)の専決処分の報告について	村 長	原案報告
報告第8号	平成29年度伊江村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	村 長	原案報告
承認第1号	専決処分した伊江村税条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて	村 長	原案承認
承認第2号	専決処分した伊江村国民健康保険条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて	村 長	原案承認
議案第36号	村有財産(冷蔵コンテナ車)の財産処分について	村 長	原案可決
議案第37号	平成30年度伊江村一般会計補正予算(第1号)	村 長	原案可決
議案第38号	平成30年度伊江村診療所特別会計補正予算(第1号)	村 長	原案可決
議案第39号	平成30年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	村 長	原案可決
議案第40号	平成30年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	村 長	原案可決

平成30年 第7回 伊江村議会臨時会 (開会日：7月20日)

議案番号	件名	提案者	議 決 果
議案第41号	肉用牛優良繁殖雌牛増頭改良推進事業分担金徴収条例の制定について	村 長	原案可決
議案第42号	平成30年度伊江村一般会計補正予算(第2号)	村 長	原案可決
議案第43号	平成30年度伊江村水道事業会計補正予算(第1号)	村 長	原案可決
議案第44号	特定地域経営支援対策事業(精脱葉施設処理装置)の購入契約について	村 長	原案可決
議案第45号	特定地域経営支援対策事業(ハーベスター)の購入契約について	村 長	原案可決
議案第46号	伊江島ハイビスカス園等整備工事(建築)の請負契約について	村 長	原案可決
議案第47号	伊江島ハイビスカス園等整備工事(土木)の請負契約について	村 長	原案可決
議案第48号	伊江島ハイビスカス園等整備工事(電気)の請負契約について	村 長	原案可決
議案第49号	伊江島ハイビスカス園等整備工事(機械)の請負契約について	村 長	原案可決
議案第50号	村営第2城山団地建設工事(建築)請負契約について	村 長	原案可決
議案第51号	西小第一教員宿舍整備工事(建築・土木)の請負契約について	村 長	原案可決
議案第52号	村立幼稚園増改築整備工事(建築)の請負契約について	村 長	原案可決
議案第53号	リリーフィールド公園施設整備工事(土木)の請負契約について	村 長	原案可決
議案第54号	団体営農地保全整備事業(東江上第1地区)整備工事の請負契約について	村 長	原案可決
意見書第2号	米軍F15戦闘機墜落事故に関する意見書	議 員	原案可決
決議第2号	米軍F15戦闘機墜落事故に関する抗議決議	議 員	原案可決

研 修 報 告

●北州市町村議会議員・事務局研修会及びスポーツレク大会(大宜味村)

7月5日(全議員)

今回の研修では、北部12市町村から約160名の議員や事務局職員が一斉に集い、大宜味村農村環境改善センターにおいて、NPO法人やんばる舎理事長の市田則孝氏を講師に迎え、「世界自然遺産とやんばるの未来」と題し、自身のやんばるの自然との出会いや保全活動を通して、地元子ども達と野鳥の観察会などに取組んできたことなどや、その後やんばる国立公園が誕生し、世界自然遺産登録申請に至るまでの経緯などをご講話いただいた。

その後、くにかみ屋内運動場へ移動しスポレク大会を開催し、各市町村の議員・事務局共に清々しい汗を流し交流が図られた。



▲研修会の様子



▲市田則孝氏の講話

●町村議会正副議長・正副委員長研修会(北谷町)

7月24日(正副議長・正副委員長)

「沖縄県移民110年余の歴史と実態」と題して、琉球大学名誉教授、石川友紀氏による講演が行なわれ、沖縄県の移民が始まって110年余が経過した今日までの歴史や県内市町村の移民による実態などを、本人の調査研究をもとに発表が行なわれた。

その後には、「舞台裏から見た政治とこれからの政局展望」と題して、テレビ等で活躍されている政治評論家の有馬晴海氏による講話があり、現在の政治の舞台裏でのエピソードやこれからの政局の展望などを独自のしゃべり方で、興味深い話に会場も熱心に耳を傾けていた。



▲有馬氏による講話

意見書第2号

米軍F15戦闘機墜落事故に関する意見書

去る6月11日午前6時26分ごろ、那覇市の南方約80キロメートルの海上で、米軍嘉手納基地所属のF15戦闘機1機が墜落する事故が発生した。

事故現場海域の周辺はマグロやソデイカ的好漁場となっており、漁業者を巻き込む大惨事を引き起こしかねないものとして、漁業関係者や県民に大きな不安と恐怖を与えており、住民居住地へ墜落したならば大惨事となることは必至である。

F15戦闘機については、平成6年4月の嘉手納弾薬庫地区内への墜落事故を始め、平成14年8月、平成18年1月及び平成25年5月の沖縄本島周辺海域での墜落事故など、今回を含め墜落事故は10件目となる。また、平成28年9月に発生した国頭村沖での外来機AV8Bハリアー攻撃機墜落事故等もあり、県民の不安が高まる中、今回の墜落事故が発生したことは米軍における航空機整備・保守点検のあり方等に疑問を持たざるを得ない。

また、嘉手納基地では外来機の飛来が相次ぎ、地域住民は激しい騒音と常態化への不安に悩まされ、平穏な日常生活が阻害されている状況にもある。

伊江村議会は、幾度となく繰り返される米軍機の事故等に対し、米軍の安全管理体制のあり方を厳しく指摘してきたところであるが、改善がなされないまま訓練を繰り返す米軍の姿勢は断じて許されるものではない。また、今回の事故に関しても原因の究明や十分な説明もなく、2日後に訓練を再開したことには強い怒りを禁じ得ない。

これ以上、県民を基地あるがゆえの恐怖にさらすことがあってはならず、米軍及び日米両政府においては、県民の懸念の払拭に向け全力を挙げて取り組むべきである。

よって、伊江村議会は、県民の生命・財産及び生活環境を守る立場から、今回の事故に関し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

1. 事故原因を徹底的に究明し、その結果を速やかに県民に明らかにすること。
2. すべての航空機の住民居住地での飛行訓練を禁止すること。
3. 外来機の飛来を中止すること。
4. 日米地位協定を抜本的に見直すこと。

平成30年7月20日

沖縄県国頭郡伊江村議会

あて先

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、内閣官房長官
沖縄及び北方対策担当大臣、外務省沖縄特命全権大使、沖縄防衛局長

※上記同様に抗議決議を米軍関係機関へ提出しました。

イージマンチュ

南米の伊江島人 ムルチューパーン ジヤド〜

南米三ヶ国の移住百十周年記念式典に
県町村会・町村議長会主催の南米訪問団の
一員として宮里徳成教育長と参加させて
いただきました。

- 一、南米訪問団 26名(団長、新垣邦男、北中城村長
副団長、島袋義範伊江村議会議長
二期 間 平成30年8月2日〜8月16日
- 三、目 的 ① 移住百十周年記念式典及び
慰霊祭への参加
② 各町村人会の方々との交流
③ 県系企業の訪問
- 四、訪 問 国 ブラジル、アルゼンチン、ボリビア



▲前夜祭パレード



ブラジル

前夜祭のパレードは、先頭に県人会・役職員・沖縄からの訪問団、その後には各団体(琉舞・空手・健康体操・県内各市町村支部・エイサー・サンバ)がそれぞれの技を披露。その参加人数は多く圧巻だった。その後特設会場に移り、沖縄でも定番の幕開けの『かぎやで風』で始まり、各サークルの発表で舞台も華やいだ。

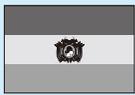


アルゼンチン

「うるま園」(県人会所有の交流施設とゲートボール場)での屋食バーベキュー大会があり肉三昧のおもてなしを受けた。
長年アルゼンチンにおいて日本語学校の講師をしている東江前区玉城強さんの「長男・玉城正樹さんの日本語教室での授業風景を視察させていただきました。
授業では「まり」や「カード」を駆使し、飽きのこないユニークな方法での授業が行われていた。



▲「うるま園」にて



ボリビア

一日目に「百十周年慰霊祭」が実施され移住地でお亡くなりになられた一世の方々のご苦勞に感謝し、これからの発展を祈った。晩の豊年祭では県系人・地元の方々との交流を含むまつりが盛大に行われた。
山城忠さんが経営される農場での麦の収穫作業を視察させていただきました。畑の一边が二〇〇m×三四〇〇mの広大な麦畑で大型コンバイン2台により刈り取りから脱穀までの一連の作業が行われ、畑から直接製粉会社(カイコ)へ出荷されていた。



▲ボリビアに無事到着

各国とも、それぞれ移住百十周年記念式典が粛々と実施され、これまでの功勞者への感謝状の贈呈があった。
また各国ともその地で幅広く事業をされている県系企業を視察しましたが、県系人の頑張りを目の当たりにすることができた。

それぞれの国において、村人会との交流会が実施されました。シマンチュがそれぞれの地で元気で頑張っておられました。各国での交流会では南米交流事業で派遣されたOBの皆さんが積極的に運営にあたっていて、これからの伊江村人会を背負っているのを確認することができ、子弟交流の継続の必要性を痛感した。
三ヶ国とも空港での迎えから滞在中の案内、さらには帰りの送りまで大変なお世話になりシマンチュの温かさを感じる旅となりました。

南米は全国各都道府県から移住者はいるが二世・三世の時代となった今、各都道府県の県人会が消滅する中であって沖縄県人会が盛んに活動しているのは沖縄人のチムグクルの精神(結)が強く根付いていると感じた。

自宅に招待を受けた訪問先

- ・ブラジル 大城竹友様
- ・アルゼンチン 知花昌美様、知花昌盛様(昌美の次男)
- ・ボリビア 山城徳子様

南米は今桜咲く真冬、日本とは、12〜13時間の時差で昼夜は逆。帰国後一週間は時差ボケに悩む。
紙面の関係上、概略の報告となりましたが詳しくは機会あることにお話していきたい。今回南米訪問の機会を与えてくださった村民はじめ関係者の皆さんに感謝いたします。
伊江村議会議長 島袋義範

“みんなの声” 聞いてみました

今回は、高島市交流事業に参加した、皆さんに聞いてみました。



★伊江島の印象は

とてもやさしいばかりで、とてもおもしろい人もいました。また沖縄県の人が滋賀県にくるのでいっぱいあそびたいです。

高島市 団員代表
池田 斗紀(小5年)

★交流事業の感想

とても家がひろくて、なんでもやってくれて、楽しかったです。また、来年もこのことを思い出したいです。



★伊江島の印象は

「人」明るくて、楽しい、仲の良い兄弟みたい。「島」自然いっぱい、豊かな島「海」とってもきれい。

高島市 団員代表
小谷 愛夢(小6年)
(テニス「あどがわ」)

★交流事業の感想

みんなと、仲良くなれたし、マリンスポーツも楽しかったし、とても楽しい思い出ができました。伊江村のことも、たくさん学べました。



★伊江島の印象は

時間がゆっくり流れているなという印象が強いです。滋賀県では体感できない時を過ごせました。また、子どもたちがみんな元気で、声も大きくて、周りの大人たちも全員の子を見守っているような感じで温かい島だと思いました。

高島市 引率者
西尾 利沙子
(高島市教育委員会
市民スポーツ課)

★交流事業の感想

今年初めて参加させていただきましたが、子どもたちが楽しそうに、嬉しそうに、笑顔で過ごしているのを近くで見られることはこんなにも嬉しいことなのだと思います。子どもたちが打ち解けていく瞬間はそれぞれですが、その瞬間を一人ひとり見ることができ、それもそばにいられるからこそだと感じました。



伊江村 団員代表
知念 涼太
(西小6年)
(野球)

★交流事業の感想

初対面の時は、緊張がすごかったです。マリンスポーツやスイカ割りで、仲良くなるのができたのが嬉しいです。冬の高島で、みんなと再会して、自然や文化を体験するのが楽しみです。

議会の活動

6月

- 5日:村学力向上推進大会(議員)
- 6日:議会運営委員会
- 8日:太陽の花総会(議長)
- 9日:北部広域市町村事務組合第50回臨時会(議長/名護市)
- 17日:イーヅマ郷友会総会(議長/名護市)
- 13日~14日:第6回伊江村議会定例会(全議)
- 17日:海神祭(議員)
- 22日:伊江村社会福祉協議会 評議員会(議長・亀里議員)
:伊江村観光協会定時総会(議長)
- 23日:平成28年沖縄全戦没者追悼式(議長/糸満市)
- 27日:南米訪問説明会(議長/那覇市)
- 28日:伊江漁業協同組合通常総会(議長)
:中部地区町村議会議長会 視察受入(議長)

7月

- 2日:第71回伊江中学校運動会(議員)
- 5日~6日:北部地区議員・職員研修会及びスポレク大会(全議/大宜味村)
- 5日~8日:関東伊江島城山総会 他(議長/東京都)
- 9日:町村議会議長会定例理事会(議長/那覇市)
- 13日:フェリー「ぐすく」就航式典及び祝賀会(全議)
:婦人の主張大会
- 12日:議会運営委員会(議長・副議長)
- 17日:伊江村振興計画審議会(議長)
- 19日:県産品優先使用要請受入(議長)
- 20日:第7回伊江村議会臨時会(全議)
:平成30年JA伊江支店感謝のついで(議員)
- 24日~25日:町村議会正副議長・正副委員長研修会(正副議長、総務・経公正副委員長)
- 25日:さとうきび生産組合 第12回通常総会(議長)
- 30日~31日:北部市町村議会議長会第2回理事会(議長/伊江村開催)



▲フェリー「ぐすく」就航式

8月

- 2日~16日:沖縄県人南米移住110周年記念式典(議長/ブラジル・アルゼンチン・ポリビア)
- 5日:伊江村郷友会 定例総会・敬老会・合同祝賀会(議長/浦添市)
- 6日:米軍爆弾処理船LCT爆発事故被爆者慰霊祭(議員)
- 8日:村営第2城山団地建設工事安全祈願祭(議員)
- 9日:西小第一教員宿舎整備工事安全祈願祭(議員)
- 18日:JA伊江支店謝恩夏祭り(議員)
- 20日:広報委員会
- 27日:JAおきなわ伊江支店花卉生産部会30周年式典・祝賀会(議長)



▲伊江村郷友会総会で祝辞を述べる渡久地議員